

## 第10回「学ぶ土台づくり」推進連絡会議 事前アンケート まとめ

※テーマ「幼児教育の充実のための環境づくり」に関する取組等についての事前アンケートをまとめさせていただきました。

氏名	内容	
	現状(取組)	課題
(尚綱学院大学 准教授) 小泉 嘉子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前までの短大保育科から、四大子ども学科となったことにより、「保育ができる」保育者から「保育を構築できる」保育者を育成することに重心を移動している。</li> <li>・環境教育部門としては、子どもたちが置かれている環境を的確に分析し、適切な保育・教育を考案・選択できるための知識や判断力を身に付けることを目標とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の大学生の多くが、幼児期における豊富な自然体験をしていない。そのため、幼児期の自然体験を基盤とした思考が難しい現状となっている。</li> <li>・さらに学校教育における理科離れによる自然科学系のコンセンサスにも弱点が目立つ。→将来、幼児教育に携わる学生たちに対し、可能な限り自然体験を盛り込んだ演習型講義を展開するようにしている。「保育内容指導法・環境」の講義では、人的社会的環境と自然環境が範疇となるが、後者に重点を置いている。</li> </ul>
(宮城県国公立 幼稚園・こども園 協議会副会長) 伊藤 福子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修の充実とスキルアップを目指した研修の実施</li> <li>・幼保小の交流や連携を図る。</li> <li>・地域の自然や人材を積極的に活かした保育活動の充実</li> <li>・園舎内外の環境整備や定期的な安全点検の実施</li> <li>・特別な支援を必要とする園児への対応に関する職員研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正職員が不足しており、非常勤職員が担任をしている。多様な勤務体制のため、運営していく上で難しさを感じている。</li> <li>・入園者数が減少している。また、園児数が少ないことで年齢に応じた集団性が培えないことが課題である。</li> <li>・特別な支援を必要とする園児に対する職員数の配置が不足している。</li> </ul>
(宮城県私立幼稚 園連合会常任理 事) 吉岡 弘宗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園・保育園として地域行事に協力参加により幼稚園・保育園の理解が深まったように感じているが、当園に入園している幼児・児童に限ってのかたちで、地域性までには広がっていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校との“子どもの発達の様子が話せていない。“学校に来たら”“幼稚園保育園では”の“カベ”が進歩はしていると思うが、まだまだ大きな“カベ”。教育委員会としての指導的項目が出ないと“カベ”はなくなる。アプローチカリキュラムが必要な気がする。幼稚園、認定こども園、保育園(所)、各々に違いがあります。</li> <li>・現代社会の若い親世帯の考えの中に地域?地元?幼稚園?保育園?のことを考えて“子ども育て”を考えていない人が大半。“人気”だとか“都合”が多いように思う。“子育ての重要性”のポイントが伝わっていない。</li> </ul>

氏名	内容	
	現状(取組)	課題
(宮城県保育協議会会長) 中鉢 義徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所(園)に於ける保育は「養護と教育」が一体的に行われており、保育者は保育指針の養護のねらいをよく理解し、生命の保持・情緒の安定を基軸に対応している。</li> <li>・子どもたちは「遊び」の中でルールを守ることにより、友達との信頼関係を築き、人との接し方やマナー等を学んでいる。</li> <li>・保育者は子どもたちが「遊び」の中で楽しみ、試し、工夫し、見通しを持って子ども自身が「遊び」を発展させていくことを支えている。</li> <li>・学びの土台づくりは遊びの中でしか経験できないので、保育者に最も求められるのは、学びの土台づくりを促すことを強く意識しながら遊びの援助をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の「遊びの見通し」が学びの土台づくりに結び付く。同じ遊びを繰り返すのではなく、今日、明日、来週と少しずつ複雑な遊びへと発展させることが大切であるが、保育士不足の中で仕事の量が増え、仕事に追われる毎日では余裕がなくなると同じ遊びの繰り返しが多くなる。</li> <li>・保育所(園)での教育(学びの土台づくり)は一人ひとりのペースに合わせた散歩のような活動であり、個々の子どもの個性を重視し、自由な遊びの中で「学びの土台づくり」を促し、養護と教育が一体となった保育を目指す必要がある。</li> </ul>
(宮城県小学校長会理事) 片山 栄次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保小連携事業の推進</li> <li>・関連する研修会への積極的な参加</li> <li>・小1プロブレムへの対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育の目標や内容の理解</li> <li>・幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けたアプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの作成</li> </ul>
(宮城県児童館連絡協議会副会長) 我妻 良恵	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の育児サークルへの支援(場所、職員、遊具、情報の提供)</li> <li>・地域の親子(来館者への同様の支援)</li> <li>・保育所、小学校との個人レベルでの情報交換(必要に応じて)</li> <li>・地域の住民と児童との交流を図りながら、様々な行事をもつ。(けん玉、コーラス、グランドゴルフ、カレーづくり、見守り隊など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園との情報交換はなかなか時間がとれないでしまうことが多い。</li> <li>・中学生と小学生との交流をもっともてるようにしていきたいが、中学生側となかなか考えが合わない。(勉強に集中させたいので、児童館で遊ぶのは望ましくないという)</li> <li>・館長の異動(名取市の場合)のサイクルが短くなってきて、地域とのつながりが十分にもてない。</li> </ul>

氏名	内容	
	現状(取組)	課題
(気仙沼市教育委員会学校教育課長) 今野 勝美	<p>①幼児教育指導体制の確立</p> <p>幼児教育アドバイザーに適した人材を選定し、研修や先進地域の視察を通して資質の向上を図る。また、幼児教育アドバイザーを活用して、各園等の訪問調査を実施することで本市全体の幼児教育における課題が明確化し、その具体的な対応が可能になる。幼児教育指導の推進にあたっては「調査研究実行委員会」の体制整備を確立するとともに、非正規雇用教職員の多い本市における職能研修の充実に努める。</p> <p>②調査研究について</p> <p>調査研究実行委員会を組織し、本市全幼稚園、保育所等の現状と課題を把握した上で、調査結果を分析し、指導方法等について協議を行うとともに、幼児教育アドバイザーにおける指導実績についての検証も行う予定である。また、市内における幼保一元化についての検討を進めていく予定である。</p> <p>③幼保小連携事業の整備について</p> <p>幼保小連携事業を推進し、幼保のほか私立幼稚園や小学校との情報交換・共有を行うことで、小学校へのスムーズな引継が実施できるとともに、県が推奨している「学ぶ土台づくり推進事業」に対し、幼保小共通した取組を行う。</p>	<p>・本市は、平成18年唐桑町と合併した後、平成21年本吉町と合併し、1市2町を包含した体制でのスタートである。合併後、公立幼稚園の運営において、市として管理運営基準を示し、統一しようと試みた結果、地域住民の理解を得るのに多くの時間を要した。</p> <p>・現在本市としては、市立幼稚園教員及び市立保育所職員の任用に関しては、両免許を所持していることを義務づけているものの、採用後の職員同士の人事交流が滞っていることが、本市における質の高い幼児教育の提供に課題を残しており、このことが、幼児の集団生活への適応力、親の養育指導等に望ましくない影響を及ぼしている。小学校においては、小1プロブレム解消のための幼保小交流事業を推進しているが、浸透していない現状である。</p>
(宮城県保健師連絡協議会会員) 狩野 悦子	<p>○取り組んでいること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園から小学校に上がる際の引継ぎ</li> <li>・入学前に学校行事に幼稚園児を招待・交流を図る</li> </ul> <p>○富谷町内の1つの小学校と町立幼稚園の間で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援の必要な幼稚園児に関して、小学校の教頭やコーディネーターの先生が、小学校に上がったからの生活について保護者の相談を受けている。(随時)</li> <li>・学校の先生が幼稚園での関わり方を見に来て、学校でも同じ環境を継続できるように配慮している。</li> <li>・支援の必要な児に対して、小学校入学前の春休みに、学校や先生に慣れるために通わせてもらっている。</li> <li>・学校が主催の「発達」に関する研修に、町立・私立の幼稚園教諭も参加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町立の幼稚園と学校との連携はとれているが、私立幼稚園や保育所等との連携がまだ十分とはいえない。</li> <li>・「取り組んでいること」であげた「学校と幼稚園の密な連携」を町内のすべての小学校で実施していくことが望ましい。</li> </ul>

氏名	内容	
	現状(取組)	課題
(気仙沼市家庭教育推進協議会会長) 星 美保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子育て世代のニーズを把握(アンケート等)し、なるべく地域の人材を生かして講師をお願いし、事業(子育てほっとサロン)を行っている。</li> <li>・協議会会員の構成についても、行政職員(事務局)福祉関係、教育関係、子育てグループ代表者、PTA役員等々多方面の方々をお願いしている。研修の場として子育てサポーター養成講座、学ぶ土台づくりワークショップ等の情報を活用していただいている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年、子育てサポーター養成講座の講師を受けたとき、地域間で受講する人数が違い、意識の高さやニーズ、条件などが影響していることを知った。学ぶ土台づくりを通して、せっかくつながった知り合った関係を今後どのように生かしていくかが課題となる。その時に、地域の特色を生かし、支援者の活動しやすい場(所属、場所)あるいは、支援者だと分かるような表示アピールが必要ではないかと考えている。</li> </ul>
(NPO法人まなびのたねネットワーク代表理事) 伊勢 みゆき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年小学校で就学前の保護者向けの研修を担当している。そこで大切にしているのは、保護者の子育てに対する「目的意識」を育むこと、どんな人を育てたいのか、そのために、今何をすべきかを考えてもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子間の愛着形成、具体的な関わり方、声掛けの仕方、親が学ぶ場の提供、親同士がコミュニケーションがとれる、悩みを共有しあえる場づくり、世代間交流ができる場づくり。</li> </ul>

## 「学ぶ土台づくり」について

平成 28 年 8 月 17 日

立華認定こども園 父母会

### ★「学ぶ土台づくり」とは

宮城県では、幼児期は将来の自立のために必要となる社会性、コミュニケーション能力、想像力など様々な能力や態度の基礎を築く時期であり、「学ぶ土台づくり」とは、この時期の子どもの成長を促す幼児教育を表すもの。

### ★「学ぶ土台づくり」推進計画とは

幼児期の教育に関係する様々な主体（家庭、地域社会、教育現場、行政）が、それぞれの役割を果たしながら共に取り組むことを総合的な視点で取りまとめた計画のこと。

### ★幼児教育の充実のための環境づくり

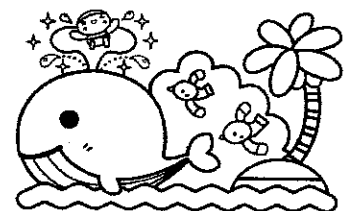
幼児教育は、乳幼児の多くが在籍する幼稚園、保育所等といった教育現場はもちろんのこと、家庭、地域社会において幅広く行われています。

幼稚園、保育所等から小学校への円滑な接続や、「幼稚園、保育所、小学校」の連携・交流、特別な支援を必要とする子どもへの適切な対応など、多様化する幼児教育へのニーズに対応するため、教育と福祉の連携による環境整備のほか、家庭・地域社会の教育力の向上に向けて、家庭、地域社会、幼稚園、保育所等、行政など、関係する主体がそれぞれの役割を的確に果たすよう働きかけを行うとともに、相互の連携強化に向けた取り組みを行っていきます。（別表参考）

### ★「幼児教育に関わる実態調査」保護者向けアンケートの関連項目

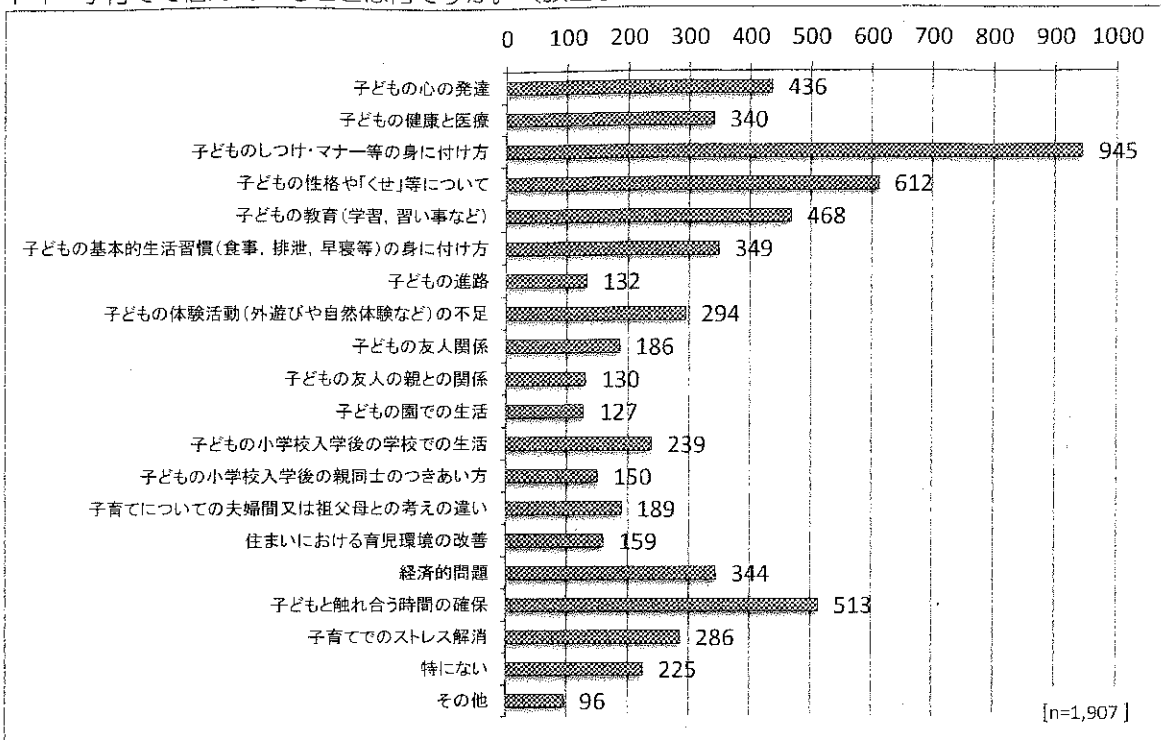
- ・子育てで、悩んでいることは何ですか？
- ・子育ての悩みについて、誰に相談をしていますか？
- ・発達障害などについて相談したいとき、どこに相談したらよいか知っていますか？
- ・発達障害（ADHD、LD、自閉症など）の一般的特徴や関わり方などについて、知っていますか？

★以上のことについて、父母会としての現状はどうか。また、今後の課題として考えられることは何か。

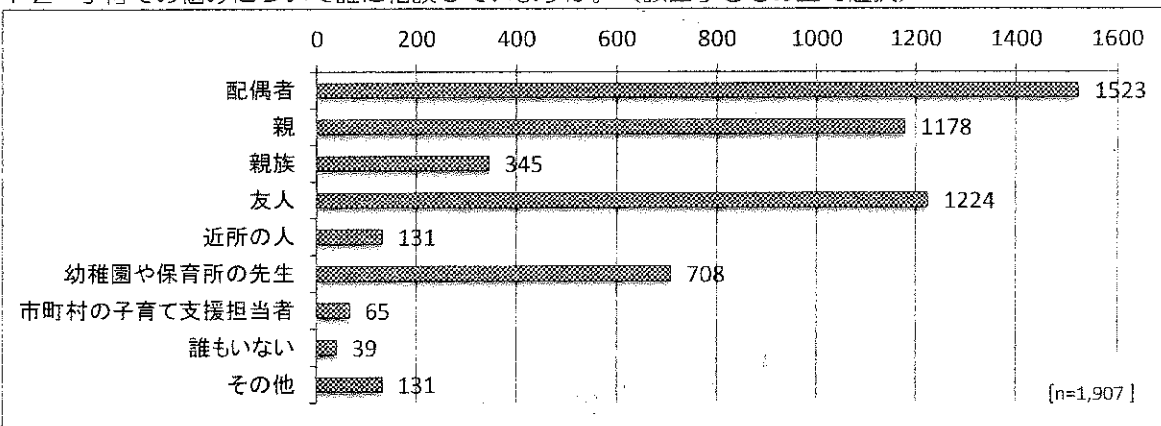


#### 4 幼児教育の環境について

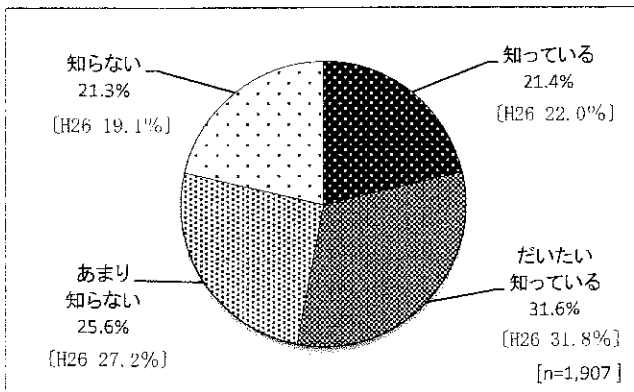
##### 4-1 子育てで悩んでいることは何ですか。（該当するもの全て選択）



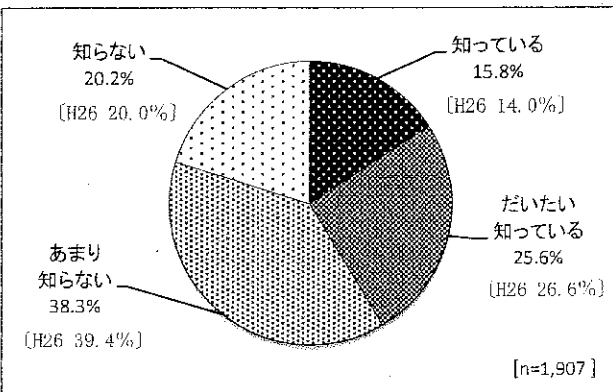
##### 4-2 子育ての悩みについて誰に相談していますか。（該当するもの全て選択）



##### 4-3 発達障害などについて相談したいときの情報 お子さんの行動（落ち着きがない、パニックを起こしやすい、友人と一緒に行動が取れないなど）が気になる とき、どこに相談したらよいか知っていますか。 （該当するもの1つ選択）



##### 4-4 発達障害の知識 発達障害（ADHD、LD、自閉症など）の一般的 特徴や関わり方などについて知っていますか。 （該当するもの1つ選択）





# 子育てほっとサロン

第2回の講師とテーマはこちら↓↓↓

## 虫歯をやっつけろ!

### 恭先生の楽しいはみがき指導

菅原歯科医院 菅原恭先生

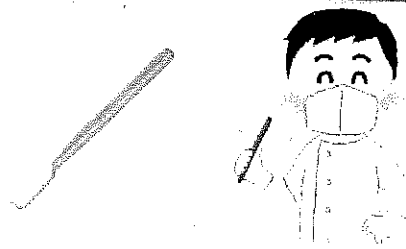
虫歯の予防法や乳幼児期の歯科指導、食育指導など、  
恭先生が楽しくわかりやすく教えてくれる勉強会です。

日 時：9月3日(土) 10時～  
 場 所：東新城すこやか(和室)  
 参 加 料：無料(入退室自由)  
 準備物等：お子さん用の歯ブラシ  
 (普段使っているもの)  
 申込み期日：開催日の3日前まで  
 申込み方法：お電話またはメールにて

第三回もお楽しみです



子育てに奮闘する毎日。  
 講話の後はお茶っこ飲んで  
 「ほっと」ひと息つきませんか？  
 ※お子様のお飲物等はご持参くだ  
 さい。



気仙沼市家庭教育推進協議会事務局 (教育委員会生涯学習課生涯学習係)

【TEL】0226-22-3442 【mail】k-kyosho@city. kesenuma. lg. jp

主催 気仙沼市家庭教育推進協議会/気仙沼市教育委員会

【星様からの提供資料】

